

## 白川町パブリックコメントの意見に対する回答

基本目標 1 しらかわの宝ものをしごとに変える	
意見	<p><b>施策①：地域資源（緑）を活用した産業振興</b></p> <p><b>1 美濃白川茶の国内・海外販路開拓 に関する事業提案</b></p> <p>～販路の拡大～</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ <b>新製品の開発</b> 煎茶ばかりでなく、白川茶を使った多様な商品（加工品）開発し、白川茶に合う和洋菓子、和食（寿司等）などとのセット販売を行う。</li> <li>・ <b>ネット販売</b> 外国人向け（特に富裕層）に、日本茶の入れ方、飲み方などお茶の理解を得るためのPRと販売を促す。</li> <li>・ <b>イベント会場における出品販売</b> 東海三県、人の多く集まるイベント会場で出店PRと販売促進事業を推進する。</li> <li>・ <b>和食店（寿司店など）へのPRと固定客の確保</b> 家庭で煎茶の需要が低いなかでも、和食店においては、客に必ずお茶を提供していることから、安定した需要と供給が見込まれる。</li> </ul>
回答	<p>新製品の開発、ネット販売、イベント会場での出品販売、和食店へのPRなどのご意見は、現在展開中の販路拡大事業の中で取り組んでまいります。</p>
意見	<p><b>施策①：地域資源（緑）を活用した産業振興</b></p> <p><b>3 豊富な緑の活用 に関する事業提案</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ <b>山の集約化事業（森林経営計画団地化）の推進</b> 現在、森林組合が主導的立場で行っている事業であるが、森林価値の向上と間伐材搬出の低コスト化のためには林道（作業道）整備が不可欠であり、山林所有者が共同して山の集約化事業に積極的に協力し、合理的かつ効率的な林業経営を推進し、自然環境の改善を図る。 さらに、山林にはナラ、クヌギなどの広葉木の植林を促進して、里山作りをおこなうことで、副次的に有害鳥獣の発生を抑え、自然環境の改善を図る。 また、桜や桃、イチョウ、もみじなど樹木を町内の山すそ、河川沿い、道路脇などに植樹することで町のイメージを印象付けるような景観を創作することで、観光資源となる。</li> </ul>
回答	<p>山の集約化事業については、現在も森林組合と連携し鋭意進めており、山林所有者の理解を得ながら事業を進めたいと考えています。</p> <p>広葉樹は天然更新として進めていますが、クヌギ、ナラの植林の希望があれば苗木の手配を検討したいと思います。</p> <p>河川沿い、道路沿いの植樹は、それぞれの景観に配慮しつつ地域住民の皆様のご協力をお願いしたいと考えています。</p>

意見	<p><b>施策②：挑戦できる場の提供（起業支援） に関する事業提案（追加）</b></p> <p><b>5 営農型太陽光発電事業の奨励</b></p> <p>農地転用が必要な野立ての太陽光発電でなく、農地転用することなく農業を営みながら行える営農型太陽光発電（ソーラーシェアエアリング）を奨励（助成・補助）し、農業経営の新規参入・継続と太陽光発電事業によるクリーンエネルギーの開発に貢献する</p>
回答	<p>営農型太陽光発電施設については、農地法の規定により一時農地転用許可対象物となっています。また、農地の適切な営農活動維持が許可の条件となることから、これらの体制整備が必要と考えています。</p>

基本目標2 しらかわへ行こう しらかわへ帰ろう	
意見	<p><b>施策①：移住やUターンの促進</b></p> <p><b>5 地域人材のふるさと定着化促進 に関する事業提案</b></p> <p>・町出身者を対象とした退職後のUターン希望者等の受け皿を拡充</p> <p>町出身の町外居住者のなかには、退職後（含定年）など将来、白川町に戻りたいと考えている人も沢山いる。</p> <p>その職で培った豊富な知識や経験、熟練された技能を活かした再就職先を開拓と充実を図るとともに、新たな労働人口を獲得する。</p>
回答	<p>27年4月に役場企画課内に開設した白川町移住・交流サポートセンターでは、主に空き家バンクの運営を行っていますが、合わせてハローワーク、商工会と連携して仕事情報の収集、発信も行っています。本町へのUターン希望者で移住に踏み込めない一番の理由は、働く場所がない、自分にあった仕事が見つからないことがあげられます。同じく定年退職して白川町に戻りたいとの思いを持つ方も、まだまだ自分のスキルを活かす仕事をしたい、白川町で第二の人生を試したい考えられる方は多いと思います。そのような方を雇用し、あるいは協力して新たな産業に繋がりたいと考える企業もあると思います。</p> <p>今後は、更に企業のニーズの把握に努め、ほしい人材と働きたい方を繋げる仕組みを早急につくる必要があります。</p>
意見	<p><b>施策①：移住やUターンの促進 に関する事業提案（追加）</b></p> <p><b>5 移住者への耕作地の提供</b></p> <p>・住居となる空き家と耕地の提供</p> <p>都会暮らしより田舎暮らしの方が、ステイタスと感じている人のなかには、田畑の野菜等を収穫し自給自足を理想としている人も沢山いる。移住者に休耕地や耕作放棄地を活用してもらおう。</p>
回答	<p>移住者への耕作地の提供については、農地法との兼ね合いがあり、今の時点ではハードルが高いですが、農業委員会で調整していきたいと考えています。</p>

基本目標3 しらかわ人（びと）を育み しらかわを未来に伝える	
意見	<p><b>施策②：地域コミュニティ活動の推進 に関する事業提案（追加）</b></p> <p><b>4 移住者の受け入れを容易にする住民の意識改革とコミュニティの整備</b></p> <p>町民性ともいうべき排他的な土地柄を払拭するため、地元住民が移住者との交流が持てる場をつくる。例えば、農業経験のない都会からの移住者に対する地元の農業従事者による農業指導や共同作業、逆に移住者のなかからあらゆる分野で専門的な知識・技能を有する人による地域住民への各種教養指導などを実施し地域貢献に参加してもらおう。</p>
回答	<p>営農指導では、各種農業研修制度の利用、白川町有機の里づくり協議会など各種団体を紹介しています。</p> <p>町内でも地域によって移住者に対する意識に差があります。今後の地域コミュニティをどの方向へ進めたいか、地区ごとに意見を伺いながら、移住者を積極的に受け入れたい地域を中心として展開することとします。</p> <p>また、移住・交流サポートセンターの業務として、移住者と地元の橋渡しや移住後のサポートも行い支援しています。</p>

基本目標4 しらかわで あんきに子育て あんきに暮らす	
意見	<p><b>施策①：生活支援（子育て支援・高齢者支援）の充実</b></p> <p><b>2 高齢者が安心してらせるまちづくり に関する事業提案</b></p> <p>・ 高齢者の住みやすい環境整備とそれを支える事業</p> <p>高齢者の衣食住のサポート。特に体の不自由な高齢者、独居の高齢者を対象にして、自宅にいながらして食品や衣類など商品の購入を容易にさせる事業の推進。ネット販売や訪問販売の拡充のため、事業者と民生委員などとの官民一体の事業活動を推進する。</p> <p>また、暗いイメージしかない田舎暮らしの老後を、</p> <p>国内外旅行、内外イベント、公演、スポーツ観戦などの案内</p> <p>ゲートボールに限らず、サイクリング、マラソン、軽スポーツへの参加</p> <p>趣味で音楽、絵画、囲碁、将棋、庭木の剪定、料理</p> <p>など、高齢者が明るく楽しく暮らせるように、多種多様な娯楽の場を提供する。</p>
回答	<p>まち・ひと・しごと創生総合戦略では、高齢者の対応について多くを載せていませんが、本町の高齢者対策として、平成27年度からの3ヶ年について白川町第6期高齢者福祉計画・介護保険事業計画を策定して、2025年問題をふまえた上で実施を行っています。</p> <p>食事については見守りを兼ねて自宅まで届ける高齢者等配食サービスの制度を実施しています。住については介護保険制度による居宅改修や在宅支援で高齢者紙おむつ等購入助成事業も実施しており、できるだけ住み慣れた白川町のご自宅で生活していただけるようサポートしています。買い物の環境については、高齢者にネットの買い物は敬遠される傾向があり、できれば買い物支援として家から出て、商店などに出向いて会話し、自分で選んで買い物をする形の、移動手段の確保によりサポートできないかを検討しています。</p> <p>暗いイメージということですが、アンケート内容を見ますと、生きがいがあるかということに関しては、75%の方が「ある」という回答をいただいています。娯乐的な要素の外に「働くこと（農作業・家事など）」をあげてみえる方も多く、本町では80歳までは現役という方が多いです。「自分でつくった野菜をたべる」など都会とは違った事ができる町でもあります。また、地元でのサロン活動による交流、公民館活動の音楽・絵画教室、文化協会や老人クラブ、囲碁・麻雀などの交流もあり、認知症予防についてもこうした活動を利用し、対応しています。</p> <p>高齢者支援については、別計画により詳細な取り組みをしております事をお知らせします。</p>

総合戦略は、事業実施の成果を毎年検証し、毎年修正や追加をしていきます。

国の平成26年度補正予算を活用して、総合戦略策定の前から着手した事業は、総合戦略に掲載しなければならないことになっています。このため、総合戦略を施策ごとに比較した場合、事業内容が細かいものと大きなものが混在しておりますのでご了承ください。